

7. あとがき

部会員で活発な議論を行うとともに、現場に早く情報を伝えたい、現場で使える資料をつくりたいという思いで活動を行ってきた。

今後の課題だけでも見つければいいからと、活発に議論することを大切にされた部会長の杉山先生に支えられて、部会の前半は、話題提供で共通認識を作るとともに、自由にのびのびと活発な議論が行われた。

部会が終わりに近づいた時の反省として色々な意見が出された。これらの意見が新設部会で生かされることを願う一人です。そして、本部会から新しい部会を申請するに当たって、今一度、部会員の要望を確認した。そして、「過去の補修補強事例における設計思想や性能回復効果など多視点からの調査研究，および施工性を考慮した縁端拡幅用鋼製ブラケットの設計法に関する検討」に興味を持っていることを確認した。

2年半の間、部会活動を続けて、新設部会の申請に合意頂けたことに深く感謝申し上げます。そして、こうして報告書を出版できることに部会員の皆様に感謝申し上げます次第です。

平成 27 年 4 月
三ツ木 幸子